

# ふるさと匝瑛が大好き

まだまだ残暑の厳しい今日この頃ですが、夜は幾分涼しくなり虫の音が聞こえてくるようになりました。

毎年という感じもありますが、今年の夏も記録的な猛暑となり、その暑さにより夏休みでにぎわうはずの観光地などで人がいないという異変が起きていたり、蚊が少なかったなと感じた方も多かったのではないのでしょうか？

なんでも蚊は、温度が高すぎると、飛べなくなったり死んでしまったりするそうです。自然環境や人の暮らしに、大きな被害をもたらすと考えられている地球温暖化。ゼロカーボン匝瑛を掲げ、市といたしましても脱炭素化に向けた取り組みを推進してまいります。これを機に脱炭素とはどういったことなのかを調べてみたり、省エネを心掛けたり、設備や製品を変えたり、再生可能エネルギーにより発電された電力を供給する電気会社に切り替えたりとできることは数多くあります。自宅でも脱炭素社会に向けた取り組みを行ってみてはいかがでしょうか。

さて、新型コロナウイルスによる行動制限のない夏、私も市内各所の伝統行事やイベントに伺わせていただき、かつてのようなにぎわいが戻った様子を拝見することができました。その様子を見ながら感じたことは、やっぱり皆さんふるさと匝瑛が大好きだなという事です。

少子高齢化・人口減少が続く中、ふ



るさと匝瑛の活性化に欠かせないのは人であると改めて実感しました。多くの方に移り住んでもらい、一緒に活性化に向けての取り組みに参加していただきたい。今月号でも紹介しておりますが、匝瑛市では少子化対策の推進および若者の定住促進を図るための「結婚新生活応援事業補助金」や、都市部からのU・I・ターン希望者などの移住および本市における就業などを促進するための「移住支援事業補助金」を今年度より創設いたしました。匝瑛市を離れた方や、新たに匝瑛の魅力を感じていただいている方など、多くの方に知っていただきたいと思っておりますので、ご家族や希望する方にお知らせいただけますと幸いです。

また9月に入りますと心配なのが台風です。太平洋高気圧は季節によって張り出す程度が変わり、秋が近づくとつれてだんだんと東に退いていきます。するとそこに台風の通り道ができ、関東地方にも接近することが多くなるというわけです。台風に限らず、いつ起こるか分からない自然災害に対しては、日ごろからの備えが重要です。いまだ度、防災用品の点検や避難場所の確認をお願いします。

匝瑛市長 宮内康幸

## 匝瑛探訪 蓮華寺の堂

大浦を歩く

日本最古の即身仏（僧侶のミイラ）弘智法印ゆかりの寺として知られる大浦・蓮華寺。寺の関係者から新たな資料が見つかったと連絡があり、拝見できました。

蓮華寺境内には2001（平成13）年に完成した本堂、その左側に薬師堂、堂の手前に弘智堂があります。薬師堂修理の際、数点の棟札と墨書が発見されました。資料の中で注目したのは、阿弥陀堂が1692（元禄5）年3月15日に完成したと書かれた棟札です。想像を膨らますと、平成の新築本堂の以前の建物がこの阿弥陀堂ではなかったかと考



蓮華寺の堂

えられます。

棟札正面から、阿弥陀堂の工が飯高村谷中長兵衛、入仏導師を米倉・西光寺住職が務め、大浦村堀ノ内集落の名主江波戸平左衛門、宮和田集落の名主権右衛門と門徒寺の宝泉院、地藏院などが高額の寄付をしたことを知ることができます。

裏面には、堀ノ内旦那（檀家）が米15俵、宮和田旦那が10俵を、檀家160人ほどの寄進があったことが書かれています。

もう一枚の棟札には、1651（慶安4）年11月に阿弥陀三尊の修理を江戸の仏師に依頼し、松山村の大工による像を納める宮殿とも完成したことが書かれています。

また、東総四十九薬師霊場の「第四十六番札所」とされる蓮華寺の薬師堂についても堂内須弥壇の下段内部で墨書が見つかったことで、1735（享保20）年9月、大工・長岡村佐五兵衛により建てられたことが分かりました。

蓮華寺にはこの他、1785（天明5）年に下総国香取、海上、匝瑛、山武の4郡を四国になぞらえ始まった「新四国八十八箇所霊場」巡りの八十四番札所と刻まれた門柱、1864（元治元）年にまつられた「子助け弘法」、江戸時代後期の出羽三山供養塔など多様な石造物があり、興味が尽きない寺院です。

（市文化財審議会委員・依知川雅一）

問 秘書課 広報広聴班 ☎73・0080

短歌

依知川 雅一 推薦

蒸し暑く寝返りうつも寝つかれず

窓から眺む月に目が冴え

高橋百合子

暑き風路傍の花にも私にも

赤き鬼灯青空彩る

大木 洋一

ねじり花ふしぎな咲き方知りたくて

頬に土付く遠き思い出

古谷由美子

初めてのお寺の写経墨香る

娘の名入れれば熱きものあり

内藤喜代美

大雨の予報に夫は鉢移す

明日の検査の無事を願って

伊藤 和江

台風の去りし夕べに期せずして

満月の光皎々と仰ぐ

鈴木 知子

大戦の怖い記憶がよみがえる

父の郷里の四年の疎開

桑原 宏子

川口

城司 推薦

二十年栽培無しのへちまの木

たった一本芽生えた不思議

伊橋 良子

介護認定調査受けつつ傍らの

写真の父母に見らるる心地す

稲葉 雪子

俳句

椿 和枝 推薦

祭の夜子の手をぐいと引寄せ

子ら去りて元の二人や法師蟬

大川 宣子

卓上を片付け祈る原爆忌

猛暑なる一と口の水背を走る

那須 恒雄

歯医者にも定年ありと夏の雨

生御魂詩歌に恋し早や白寿

椎名 晴江

白塗の鉾の少年声張りて

草刈りに追はれ暮れたり原爆忌

岩井 やす

遠き夏 父の定番冷奴

安藤 建子

川柳

川口

城司 推薦

飛行機雲台風一過青い空

台風の前報で明かり先ず用意

石田 健

台風の中継リアルテレビジョン

台風を科学の力でぶっ飛ばせ

須貝 玉枝

台風は年に一度は会いに来る

台風やお前の悪さ許さない

土屋 秀雄

台風が避けて嬉しい夏野菜

我が友よ新盆見舞のあの写真

佐久間美智子

今の子はバナナのおやつ喜ばず

検診を受けて気に病み病気呼び

江波戸京子

川柳

川口

城司 推薦

私が友よ新盆見舞のあの写真

今の子はバナナのおやつ喜ばず

鶴澤 澄子

検診を受けて気に病み病気呼び

渡部すい子

我が友よ新盆見舞のあの写真

林 長三郎

今の子はバナナのおやつ喜ばず

伊橋 裕子

地域おこし協力隊員、北條将徳さんがSNSで発信した匝瑳市体験をピックアップしてお知らせします。



開放した休憩所の前でもまれる神輿

隊員マサの

そうさ発見発信

No.09

何でもそろろうお祭り

8月4日(金)・5日(土)に八重垣神社祇園祭が開催されました。昨年移住してきた私にとって、フルスペックでのお祭りを目撃するのは初めての機会。厳しい暑さを心配しながら当日を迎えました。各町のお神輿がもまれながら進む様子は圧巻で、特に4日の夜は沿道にあふれんほどの熱気にハラハラしながら楽しむことができました。見ていて感じたのは、このお祭りのバランスの良さ。都内では浅草三社祭や水掛

けもある深川八幡祭りなどが有名ですが、匝瑳のお祭りはいずれにも勝る豪華さです。お囃子の音色に威勢の良い掛け声が合わさり、随所で水掛けもある。参加者も見物客も楽しめる素晴らしいお祭りだと思います。これを機に、“何でもそろろうお祭り”と銘打つのはいかがでしょうか？

私はこの2日間、祭りを見物される人に向けて、無料休憩所として改装中の店舗を開放しました。町内になじみのある人や今は市外で暮らす匝瑳市出身者など、いろいろな人にご利用いただきま

した。匝瑳に住み続ける人も、外に出られた人もふるさとに持つ気持ちは同じ。少しでも街がにぎわって欲しいというお言葉をたくさんいただきました。そんな皆さんの思いを形にできるように、匝瑳のために引き続き頑張ります！